

取扱説明書

住宅用照明器具（ペンダント）

保管用

施工説明付き



品番 LGB10418WCE1 LGB10418BCE1
LGB10419WCE1 LGB10419BCE1

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（1～2ページ）を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店
またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。



禁止

●布や紙など燃えやすいものをかぶせない
火災のおそれがあります。



注意



必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに
火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき
自主点検してください。

●お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと、感電の原因となることが
あります。
●器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する
器具の取り外しには資格が必要です。
●カバーの取り扱いには注意する
お手入れの際、カバーを持ち上げて急に手を
はなすと器具破損の原因となります。



禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に
置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。
●多灯設置する場合、器具を揺らしたりしない
器具の揺れなどでカバーなどが接触し落下、
破損、傷などの原因となることがあります。
●LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。
●アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、落下するおそれ
があります。



接触禁止

●点灯中や消灯直後は光源やその周辺に
さわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れの際は電源を切り、光源や
その周辺が冷めてから行ってください。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

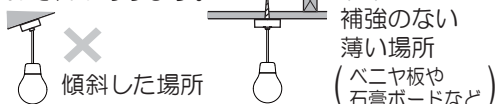
警告

■取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止



◎この器具は水平天井面取付専用です。

■その他

- 電源線は端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に
取り付けに不備があると、火災、感電、落下
によるけがのおそれがあります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- コードクリップのみぞ部分にスキマが
ないようにコードを挿入する
挿入が不完全な場合、落下によるけがの原因となります。



必ず守る

注意



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は、防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 壁の近くに取り付けない
器具の揺れなどでカバーなどが壁に接触し落下、
破損、傷などの原因となることがあります。



必ず守る

- 取り付けは確実に
木ネジの締め付けが不完全な場合、器具落下に
よるけがの原因となることがあります。

- 器具の取り付け取り外しは
手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。

施工前のご確認事項

- 壁スイッチを設けてください。点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につき、スイッチ3個までで、ご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

施工前のご準備

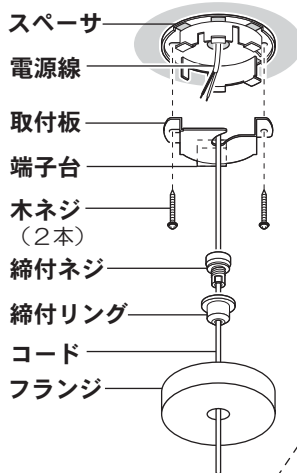
- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。
- ①フランジを左に回し、スペーサからフランジを取り外してください。



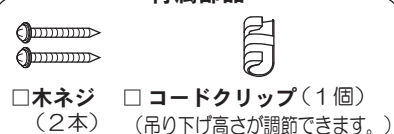
- ②取付板から締付ネジと締付リングを取り外す。



- ③締付リングをゆるめる。



付属部品



コードクリップ

カバー受け

カバー



注意

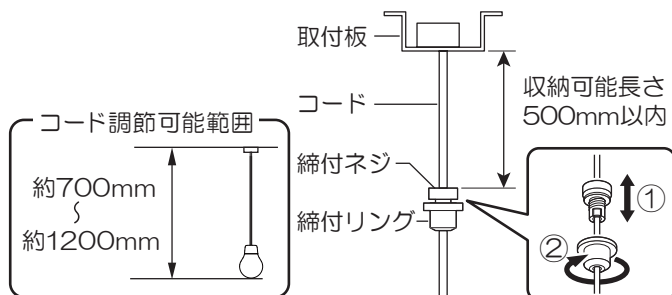


禁止

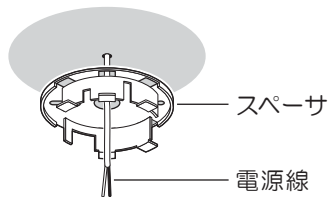
多灯設置する場合、
器具を揺らしたりしない。
器具の揺れなどでカバーなどが接触し落下、
破損、傷などの原因となることがあります。

1 収納したいコードの長さを決める

- ① フランジ内に収納したいコードの長さを決め、その位置に締付ネジを移動させる。
- ② 締付リングで、締付ネジを固定する。

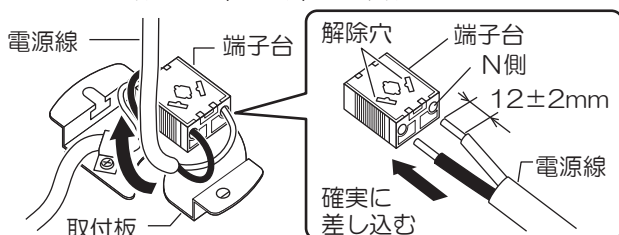


2 スペースに電源線を通す



3 端子台に電源線を接続する

- ・適合電線 VVF 1.6、2.0 単線

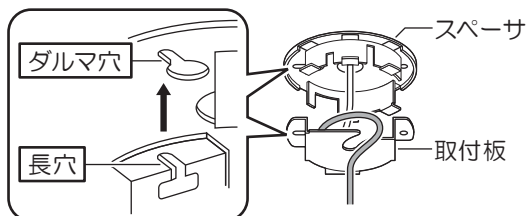


- ・電源線差し込み後、取付板の中央にくるように電源線を曲げてください。

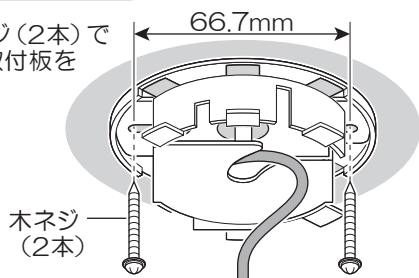
器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

4 天井面にスペースと取付板を取り付ける

- ① スペースのダルマ穴と取付板の長穴を合わせる。

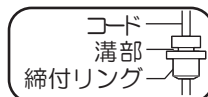


- ② 付属の木ネジ (2本) でスペースと取付板を取り付ける。



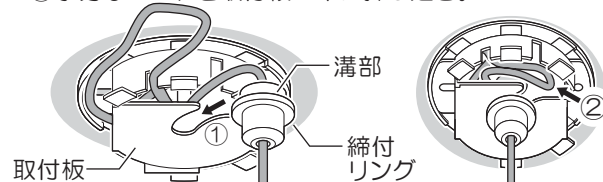
5 締付リングを取付板に取り付ける

- ・収納するコード長さによって、取り付け方法が変わります。



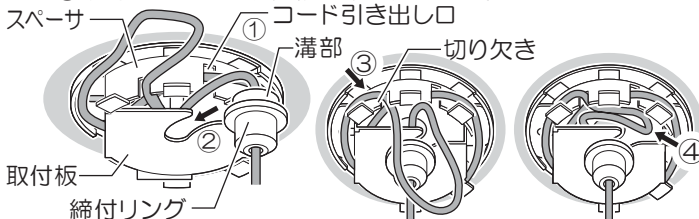
0～270mm未満の長さを収納する場合

- ① 締付リング (溝部) を取付板に差し込む。
- ② 余分なコードを取付板の中に押し込む。



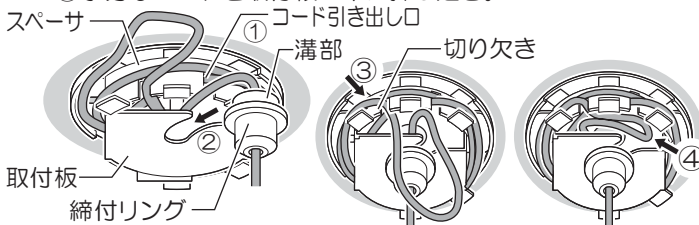
270～500mm未満の長さを収納する場合

- ① コード引き出し口からコードを引き出し、スペースに1周巻き付ける。
- ② 締付リング (溝部) を取付板に差し込む。
- ③ コードの巻き終わりを切り欠きに引掛ける。
- ④ 余分なコードを取付板の中に押し込む。



500mm収納する場合

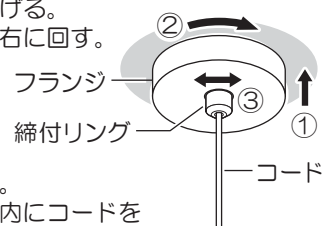
- ① コード引き出し口からコードを引き出し、スペースに2周巻き付ける。
- ② 締付リング (溝部) を取付板に差し込む。
- ③ コードの巻き終わりを切り欠きに引掛ける。
- ④ 余分なコードを取付板の中に押し込む。



6 フランジを取り付ける

- ① 天井面にフランジを押し上げる。
- ② フランジを止まるまで軽く右に回す。
- ③ コードがフランジの中央にくるように締付リングを動かして調整する。

- ・コードをかみ込んだ場合、フランジが取り付けません。手順 5 に戻って、取付板内にコードを正しく収納し直してください。



7 コードクリップで長さを調整する場合

- 確認** ● 複数灯並べて、ご使用になる場合は必ず長さ調節し、器具の高さを合わせる。

- ① 長さを調節して横のみぞに ② 縦のみぞに確実にいれる



注意



必ず守る

取り付けは確実に
木ネジの締め付けが不完全な
場合、器具落下によるけがの
原因となることがあります。



警告



必ず守る

この部分にスキマがないように
コードを挿入する
挿入が不完全な場合、落下による
けがの原因となります。

交換作業前に、必ず電源を切ってください

④取り外す

- ①カバーにLEDユニット
電源内蔵型を取り付ける
※カチッと音がするまで確実に
取り付けてください。
- ②コネクタをLEDユニット
電源内蔵型に差し込む
- ③引っ張ってコネクタが
外れないことを確認する
- ④カバー受け内側の凸部と
LEDユニット電源内蔵型の凹部を
あわせてカバーを取り付ける